

# 融 合 領 域 科 目 一 覧 表

## 《旧 科 目 一 覧 表》

科目群	1年次		2年次		3年次		4年次		卒業所要単位
	科目名	単位	科目名	単位	科目名	単位	科目名	単位	
基礎教育科目	経済入門ゼミ(必修)	4							4単位
	基礎経済学	4	経済数学 外国書講読I	4 4	外国書講読II	4			4単位
基礎ゼミ	※基礎ゼミI	2							8単位
	基礎ゼミII	4							
フロート単位 (自由選択科目)	全学共通科目(卒業所要単位44単位を超過した分) 学部固有科目(卒業所要単位68単位を超過した分) 基礎教育科目(卒業所要単位8単位を超過した分)								8単位
<b>合 計</b>									16単位

## 《新 科 目 一 覧 表》

科目群	1年次		2年次		3年次		4年次		卒業所要単位
	科目名	単位	科目名	単位	科目名	単位	科目名	単位	
基礎教育科目	経済入門ゼミ(必修) ※【再】クラスで開講	4							4単位
	経済学A 経済学B	2 2	数学A 数学B 英書講読I 英書講読II	2 2 2 2	英書講読III 英書講読IV	2 2			4単位
基礎ゼミ	※基礎ゼミ	2							8単位
	教養テーマゼミ	4							
フロート単位 (自由選択科目)	全学共通科目(卒業所要単位44単位を超過した分) 学部固有科目(卒業所要単位68単位を超過した分) 基礎教育科目(卒業所要単位8単位を超過した分)								8単位
<b>合 計</b>									16単位

※「基礎ゼミ」は開講されません。

## 融合領域科目の目的と特徴

「融合領域」とは、専門教育と教養教育を関連づけ、体系的に4年間の学習ができるよう設けられたもので、〈基礎教育科目〉〈基礎ゼミ〉〈フロート単位（自由選択科目）〉から成り立っています。

(1) 基礎教育科目	<p><b>目的:</b> 教養教育と学部専門教育との有機的関連を深めつつ、専門教育履修の基礎となる素養を修得する。</p> <p><b>性格:</b> 専門教育の基礎として欠かせない諸科目が設定されており、それらを履修することにより専門教育の履修がより円滑になる。</p>
(2) 基礎ゼミ	<p><b>目的:</b> 大学での“学び”を始めるにあたって、勉学に対する姿勢など基本的なことを修得する。併せて、高校教育とは異なる学問のおもしろさ、深さを知り、それぞれの問題関心を培っていく。</p> <p><b>性格:</b> 教員や学生相互の自由な対話や討論を通じて、「話すこと」「読むこと」「書くこと」という表現の仕方を修得しつつ、それぞれの問題関心を深め、まとめることができるようにする。「基礎ゼミⅠ」は半期2単位で、上記の趣旨に沿った内容となる。「基礎ゼミⅡ」は通年4単位で、前半は「基礎ゼミⅠ」の内容に準じ、後半は教員の専門分野に入り込んだ形で進められる。又、教員独自のユニークな方法で授業は進められ、受講者は学問のおもしろさをより深く体験できる。</p>
(3) フロート単位	<p><b>目的:</b> 各自の関心や意欲が生かされるように科目を自由に選択して履修するもので、全学共通科目、学部固有科目、基礎教育科目、及び基礎ゼミの中から、選択履修する。</p> <p><b>性格:</b> 各自の立てた履修計画に従って自由に科目選択することによって、個性的な履修が可能になる。例えば、専門性の強い科目をより多く学びたい人は必要単位を全て学部固有科目にあてることもできるし、より幅広い知識を身につけたい人はすべて全学共通科目にあてることもできる。</p>

## 融合領域科目の履修上の留意点

(1) 基礎教育科目 〔経済入門ゼミ〕	<p><b>必修科目です。必ず、履修・修得して下さい。今年度この科目を再履修する場合は、春・秋学期集中開講の「(再)経済入門ゼミ」(4単位)を履修して下さい。</b></p>
〔基礎経済学〕	<p>この科目は平成14年度より新カリキュラム移行のため開講されません。<b>履修希望者は全学共通科目「経済学A・B」を履修して下さい。(いずれか一方を履修し、他の科目と組み合わせることも可)</b></p>
〔経済数学〕	<p>この科目は平成15年度より新カリキュラム移行のため開講されません。<b>履修希望者は全学共通科目「数学A・B」を履修して下さい。(いずれか一方を履修し、他の科目と組み合わせることも可)</b></p>

(2) 教養テーマゼミ

この科目を履修するには事前登録が必要です。『シラバス～授業計画～』を参考に希望クラスを教務案内の頁の「事前登録カード」に記入し申し込んで下さい。定員は各クラス25名程度です。

受付方法、日時、場所については、履修・学生生活ガイダンスまたは掲示で案内します。

「基礎ゼミⅡ」

この科目は、2003年度以降開講されません。「教養テーマゼミ」を履修して下さい。なお、過年度に修得済みの学生は「教養テーマゼミ」を履修することはできません。

(3) フロート単位

- ①必修科目は、フロート単位の対象外となります。
- ②『シラバス～授業計画～』を参照し、1～4年次に開講されている学部固有科目、全学共通科目、基礎教育科目、基礎ゼミから自由選択し、必要単位数を満たせるよう履修計画を立てて下さい。
- ③受講しても不合格になる可能性もありますから、少し多目に履修する計画を立てた方がいいでしょう。特に4年生になった時点では、卒業単位数不足とならないよう注意し、チェックして下さい。
- ④まとまりのあるテーマ履修（情報テーマ）との関係  
 情報テーマの指定科目の一つとして基礎教育科目（基礎経済学、経済数学）を修得した場合には〈フロート単位〉として卒業必要単位数に含めることができます。この単位は情報テーマ履修必要単位数（14単位）を満たす要件としてはカウントされますが、同時にそれは〈フロート単位〉または基礎教育科目の何れか一方の単位を修得したことになり、情報テーマ卒業所要単位数総数（44単位）のうちにカウントされません。つまり卒業単位数としては一回しか数えないということです。

(4) 履修条件

科目が分割されたことにより、下記科目において履修条件が発生しますので十分注意して下さい。

〈履修条件のある科目〉

区分	①	②	履修条件
	旧科目名	【新】科目名	
基礎教育科目	基礎経済学	経済学 A	①を修得した場合、②の2科目とも履修登録することができません。
		経済学 B	
	経済数学	数学 A	
		数学 B	
	外国書講読Ⅰ	英書講読Ⅰ	
		英書講読Ⅱ	
外国書講読Ⅱ	英書講読Ⅲ 英書講読Ⅳ		
基礎ゼミ	基礎ゼミⅡ	教養テーマゼミ	①を修得した場合、②を履修登録することはできません。